

## 令和4年度第2回伊勢市総合計画審議会意見等一覧

NO	課題・分野	資料頁	意見等	意見に対する市の考え方	担当所属
1	全般	-	現状としてコロナウィルス感染症の影響は歴然としており、その中でも取組を総合的に推進されている事を感じた。		
2	全般	-	計画時には想定していなかった新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも創意工夫を行い計画を進捗させたことは評価できます。	新型コロナウイルス感染症により、様々な取組が影響を受ける中でも、工夫を凝らし、総合的な取組の推進に努めてまいりました。中期基本計画の進行管理においては、社会環境等の変化への柔軟な対応に努め、総合計画を推進してまいります。	企画調整課
3	全般	-	新型コロナウイルス感染症が市政運営に及ぼした影響についての記述はありますが、これだけ大きな問題ですので、市民生活への影響（例えば、生活困窮の問題等）についても言及があってほしいと思います。	いただいたご意見を参考とし、総括評価の記載を修正しました。	企画調整課
4	全般	-	全体については主要課題、分野別計画ともに新型コロナウイルス感染症による影響が計り知れず、社会環境の変化に対応しきれない状況であると感じます。記載にもあるように、ウィルスの変異が続くなど、新たな課題やニーズが生まれることに対し、今後いかに対応できるかが行政をはじめ企業の大きな課題であると思います。進行管理については、特に意見はございません。	中期基本計画の進行管理においては、社会環境等の変化への柔軟な対応に努め、総合計画を推進してまいります。	企画調整課
5	全般	-	第3次伊勢市総合計画基本構想・前期基本計画は、策定段階で新型コロナウイルス感染症を想定していないものであったことから、全体総括においても分野別計画や取組において、その影響が避けられなかったことは十分理解できます。また、その影響に対して、評価の乖離の課題が見出されるなどPDCAを回すために必要な点検・総括が適切に行われていることは大いに評価できます。	前期基本計画総括評価において見出した課題については、中期基本計画の進行管理における点検材料とし、適切な進行や評価に努めてまいります。	企画調整課
6	全般	-	第3次伊勢市総合計画・前期基本計画は、コロナ禍以前の平成30年に策定されています。コロナの影響で数値目標が達成できない課題も多くなるのは必然と思われます。社会情勢が大きく変化してしまった状況で、4年前に立てた目標値で評価することに意味があるのだろうかと思いました。	前期基本計画総括評価において、計画策定当初には想定していなかった社会的背景等を考慮した柔軟な進行管理が課題として見出されました。中期基本計画の進行管理において、社会情勢の変化を、どの程度の期間影響があるのか見通しを立てながら、その進行において柔軟に対応していくことが必要であると考えます。	企画調整課
7	進行管理	-	審議会で出された意見、質問に対して、できるだけ意見を尊重する形で反映する努力がなされ、各部局から何等かの回答を得られたことは評価できる。多くの審議会委員は担当部分のみの意見を述べるに留まるため、審議会委員間での議論がないことが残念である。		企画調整課
8	進行管理	-	「全体総括」の記載については、各委員の意見が反映されたものとなっており、適切であると思います。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、制限された時間での審議となったが、事前の頻繁な文書配布などにてもう少し深い議論ができたかと感じます。	いただいたご意見を参考とし、中期基本計画の進行管理においては、委員間での闊達な意見交換・議論を行っていただけるよう、工夫を凝らした資料作成や会議進行を検討してまいります。	企画調整課

NO	課題・分野	資料 頁	意見等	意見に対する市の考え方	担当所属
9	【まちづくりの主要課題】 1.子どもを産み育てやすい環境づくり 2.超高齢化社会に対応したまちづくり	5-9	少子高齢化は三重だけでなく、全国的な課題。人口減少に対する施策はもとより、高齢者の雇用へつながる企業への働きかけや人材の活用により若者世代に伝承していく機会や工夫を考えて若い世代が意欲を持って伊勢市への魅力を感じ参画していただける事業を推進してほしい。その様な具体的施策はあるのでしょうか。	高齢者の雇用につきましては、労働局と連携しながら企業への啓発を行うとともに、就業機会の提供を行うシルバー人材センターへの支援等を行っています。 また、若い世代への働きかけとして、地元企業経営者と大学生の交流事業等、学生と市内企業をつなぐ取組を行っています。市内高等学校や大学との連携においては、生徒・学生が地域への理解を深め、関心を高めるきっかけとなるような取組を進めています。 今後もこれらの取組を複合的に進め、少子高齢化社会に対応したまちづくりを進めてまいります。	企画調整課 商工労政課
10	【まちづくりの主要課題】 2.超高齢化社会に対応したまちづくり	7-9	P7「総合計画の記載内容」では、「総人口に占める老年人口の割合」を記述しているが、P8「取組の成果等」では、「高齢化率」を示している。統一した方が、理解しやすいのではないかと。	人口ビジョンでは「総人口に占める老年人口の割合」という表現を用い、福祉分野では「高齢化率」という表現を用いています。いずれも同義ですので、視点によって使い分けたいと考えています。	福祉生活相談センター
11	【まちづくりの主要課題】 3.地域のつながりの再生	10-11	自治会にどうすれば参加してもらえるかを検討することが必要だと思う。	自治会活動を担う人が固定化・高齢化する中、若者や女性の参加促進が重要と認識しております。初めて参加する方向けの活動を企画する、SNS等で情報発信を行う、時間・場所を柔軟に設定するなど、参加者を増やす方法を自治会と共に検討いたします。	市民交流課
12	【まちづくりの主要課題】 3.地域のつながりの再生	10-11	近年は価値観の変化から、世代を問わず個人化の傾向が強くなり、それに伴い老人会など多くの方が集う団体活動も急激に減少しております。これに新型コロナウイルス感染症が追い打ちを掛け、更に減少が続くことが予想されます。 今後、自治会活動、防災など地域共助の安定に向け、具体的な取り組みがあれば教えていただきたいと思っております。	少子高齢化・人口減少の進行に加え、生活スタイル・価値観の多様化や新型コロナウイルス感染症の影響もあり、地域コミュニティの希薄化が進んでいると認識しております。市としては自治会活動（防災、防犯、環境保全、地域おこし等）に対する補助金の交付や、地域共助を担う人材を育成する研修等を行っているところですが、今後新たな取組も検討していきます。	市民交流課 危機管理課
13	【まちづくりの主要課題】	-	高齢化社会に伴う空き家対策が今の取り組みだけで間に合っていくのか。	家屋所有者の高齢化に伴い、空家の増加が見込まれますが、相続を含め空家に関する情報を発信し、空家化の予防に努めるとともに、空家等の適正管理と有効活用について、地域と連携しながら実施することで、空家対策をより一層、推進してまいります。	住宅政策課
14	【まちづくりの主要課題】	-	新型コロナウイルス感染症の及ぼした影響について、全体総括では大局的にとらえ、分野別計画総括評価では細目について言及されていますが、まちづくりの主要課題総括評価についてはあまり触れられていません。項目の内容の質による差かもしれませんが若干の違和感がありました。	いただいた意見を参考とし、まちづくりの主要課題を取り巻く背景や課題解決のための取組実施における影響について、再度整理し、総括評価の記載を一部修正しました。	企画調整課
15	【まちづくりの主要課題】	-	いずれの総括評価も主な取組、取組の成果等が端的、適切にまとめられています。	前期基本計画の総括評価を踏まえ、今後も総合計画の推進に取り組んでまいります。	企画調整課
16	【まちづくりの主要課題】	-	数値化が困難なテーマもあるのであろうが、1.子どもを産み育てやすい環境づくり、6.自然災害への備え、7.有形・無形の歴史的・文化的資産の継承と活用では、「取り組みの成果等」が定性的な評価のみで、定量的な評価がなかったように思う。	定量的な評価については、課題によっては記載が困難なものもありますが、いただいた意見を参考とし、総括評価の記載を一部修正しました。	企画調整課 子育て応援課 危機管理課 文化政策課

NO	課題・分野	資料頁	意見等	意見に対する市の考え方	担当所属
17	【分野別計画】 全般	-		数値指標及び成果指標の評価については、社会環境等の影響は考慮せず、目標値を達成できたかどうか等を基準とした機械的な判定を行っています。 一方で、総括評価については、数値指標及び成果指標の達成状況を参考としながら、他の取組等も含めた施策全体の進捗度を評価しています。	企画調整課
18	【分野別計画】 第1章 市民自治・市民交流 第2節 市民活動 第4節 国際交流・多文化共生	23・27		数値指標及び成果指標の目標値を達成できなかった理由としてコロナ禍の環境変化が大きいと考えています。 一方でオンラインを活用するなどして工夫をし事業を進めることができたため、それらを勘案し、総括評価をBとしました。	市民交流課
19	【分野別計画】 第3章 環境 第3節 環境教育	47		数値指標及び成果指標に掲げた項目は、環境教育の取組を表す一側面です。この他にも、学校環境デーを活用した各校における環境教育の取り組みは全校で実施しており、また、夏休み期間中の「雑がみ分別チャレンジ」や、幼稚園・保育園での出前講座、街頭啓発等の啓発活動など、コロナ禍においても多くの取り組みを推進することができたため、全体として評価しました。	環境課
20	【分野別計画】 第4章 医療・健康・福祉 第4節 子育て支援	57	根拠となる「数値指標」「成果指標」の評価が低い(C)が、「総括評価」がB以上となっている事項があるが、その根拠はなにか。根拠評価がCであれば、総括評価もCになるのが妥当ではないか (P23.27.47.57.61.81)	成果指標における「C」の評価は、コロナ禍での施設閉館や利用控えもあり、数字が伸びなかったものです。 一方で、コロナ禍においても、移動子育て支援センターの設置や子育てに係る相談事業の充実等、子育て支援に係る取組を推進できたことから、総合的に評価しました。	子育て応援課
21	【分野別計画】 第4章 医療・健康・福祉 第5節 高齢者福祉	61		指標については、新型コロナウイルス感染症の影響により、地域活動や各種養成講座の開催が中止・延期となり、当初の計画どおりに進まなかったことから、目標値を達成できなかったものです。一方で、住民主体の活動が、より積極的に行えるよう、新たに「つきそい支援サービス」を開始するなど、地域包括ケアシステムを推進することが出来たため、総括評価をAとしました。	福祉生活相談センター
22	【分野別計画】 第6章 産業・経済 第3節 観光	81		数値指標及び成果指標については、新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、目標値を達成できませんでした。しかし、コロナ禍において、クリエイターと連携した取組による新たな観光客層の獲得や安全安心な旅行需要の高まりへの対応、体験型旅行商品造成や分散型旅行等の新しい旅行スタイルに合わせた施策を実施し、観光客の再訪促進および満足度の維持を図りました。今後、全国的な観光需要回復時には、コロナ禍前における神宮参拝者数や宿泊者数に加え、新たな観光客層の来訪が期待できることから、観光施策全体としてはB評価とした。	観光誘客課 観光振興課
23	【分野別計画】 第2章 教育 第4節 文化	39	伝統文化の担い手育成がされているのか	いずれの伝統芸能も担い手の確保・育成が大きな課題であり、各保存継承団体に努力していただいているところです。市としても、団体の状況を聞きながら、有効な支援策を模索してまいります。	文化政策課
24	【分野別計画】 第3章 環境 第1節 循環型社会	43	確かに各年の実績値は目標値を下回っていますが、年ごとの傾向としてはR2、R3と未利用食品の量は急激に増加しています。目標値を下回っているため進捗状況が「A」判定となっていますが、経時的な傾向も含めて総合的に評価すべきだと思います。	成果指標については、目標値に対する達成度を機械的に評価していることから、A判定となっています。一方で、3段階評価に表れない指標に関する背景や課題等については、「進捗状況に対する説明」欄に記載しています。	企画調整課

NO	課題・分野	資料 頁	意見等	意見に対する市の考え方	担当所属
25	【分野別計画】 第6章 産業・経済 第4節 就労・雇用	85	「重点課題の成果指標」の進捗状況 進捗状況C判定の説明に就職するまでに時間を要する傾向にあり、とあるが何故、時間を要するのか？更に調査し改善を進めて頂きたいと思います	いせ若者就業サポートステーションでは、初めて来所された方に対して、まずは面談を行い、来所者（相談者）が抱える問題の把握や適切な支援機関の紹介などを行っています。相談者には、コミュニケーションに不安を抱える方や福祉機関と連携した支援が必要な方が増えていることから、就労体験などを積み重ね、職場定着が図れるよう取り組みを行っています。	商工労政課
26	【分野別計画】 第8章 市役所運営 第1節 行財政運営	101	「総括評価に対する説明（4年間の成果と課題）」に、「全庁的に推進していく体制づくり」や「デジタルツールを活用した行政事務のさらなる効率化やデジタルデバйд対策の充実」が「求められている」と課題が記載されています。「課題を踏まえた今後の取組の方向性」には記載がないですが、今後どのように取り組んでいかれるのでしょうか。「節の目指す4年後の数値指標」の②経常収支比率について、R3の95.1%は令和2年度決算の数値ではないかと思われませんが、前年度の数値を記載することとなっているのでしょうか。	全庁的なシティブロモーションの推進体制づくりについて、いただいたご意見を参考とし、総括評価における方向性の記載を修正しました。また、デジタルによる行政事務効率化等につきましては、「伊勢市デジタル行政推進ビジョン」に基づき、施策を推進してまいります。数値指標の記載につきましては、計画策定時に「R3」の欄には、「令和4年1月1日に把握できる数値を記載する」とこととなり、その時点においては令和2年度決算値が最新値となります。	企画調整課 デジタル政策課 財政課
27	【分野別計画】 第8章 市役所運営 第2節 行政組織力	103	「総括評価に対する説明（4年間の成果と課題）」に、個々の研修の実績では係長級未満の職員への研修等において「高い成果を得ることができた」とあります。成果とはどのようなもので、どのように測ってみえるのでしょうか。	受講者の研修後のアンケート結果をもとにした評価です。 (参考：アンケート結果) ・課題解決力向上研修 業務向上度92.9% 意識向上度85.7% ・派遣研修 業務向上度96.1% 意識向上度96.1%	職員課
28	【分野別計画】 全般	-	教育、スポーツ、福祉、消防、都市基盤などを中心にコロナ禍においても目標値達成している進捗状況（節） 重点課題の進捗状況がCでありながら節がAとの関係性から今後重点課題を再検討される事も考えられますか？	前期基本計画の総括評価において、施策（節）内の指標同士の関連性について課題が見出されたことから、中期基本計画の進行管理においては、その検証を行いながら進めてまいります。	企画調整課
29	【分野別計画】 全般	-	いずれも定められたフォーマットに従って評価シートが作成されており、また、達成度を示す進捗状況も客観的な基準によってA・B・Cの判定がなされていることから適切であるといえます。 Cの判定となったものの説明の多くにコロナ禍での状況が記載されています。平時であれば、順調に進捗したはずの取組に新型コロナウイルス感染症が大きく影響したことが見て取れます。	ご意見にありますとおり、新型コロナウイルス感染症の影響によりその進捗が図れなかった取組も多くあったことから、中期基本計画の進行管理においては、社会環境等の変化への柔軟な対応に努め、総合計画を推進してまいります。	企画調整課
30	【分野別計画】 全般	-	数値目標について、どの課題の何について設定するかは重要である。未達成な場合は、その原因と取り組みの反省を明確にしめし、次の計画に生かすことが必要と考えます。	中期基本計画の進行管理において、目標値に対する達成度について分析を行うとともに、指標そのものや目標値の設定の適切さを検証してまいります。	企画調整課